

みよし市総合計画 後期基本計画

MIYOSHI-CITY MASTER PLAN

2015 ▶ 2018

KITAYOSHI



NAKAYOSHI



MINAYOSHI



みんな
ので
築く

さ
さ
え
あ
い
と
活
力

の
都^ま
市^ち

みよし市

はじめに



みよし市長

小野田 賢治

みよし市は、平成 22 年 1 月 4 日に市制施行し、県内 36 番目の市として新たな第一歩を踏み出してから 5 年が経過しました。同年 3 月には、平成 22(2010)年度から平成 35(2023)年度を計画期間とする「みよし市総合計画」を策定し、“みんなで築く「ささえあい」と「活力」の都市”をめざす将来像に掲げ、まちづくりを進めてまいりました。

本市の総合計画は、「基本構想」、「基本計画」および「実施計画」をもって構成されており、基本計画では、平成 22(2010)年度から平成 30(2018)年度までの 9 年間に基本構想に掲げためざす将来像を実現するために取り組む施策とその具体的な目標数値を示しています。計画策定から 5 年が経過し、少子・高齢化の進展や地球規模での環境問題の進行、情報技術分野における技術革新並びに増大する社会保障費など本市を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。

このような状況において、基本計画に示した施策の取り組みに対する評価や目標数値の検証を行い、新たな課題に挑戦するため施策を見直し、「みよし市総合計画後期基本計画」を策定しました。

本市は、名古屋市と豊田市の中間に位置する立地条件に恵まれ、土地区画整理事業や民間開発などにより人口流入が進み、その結果人口が微増ではあるものの増加を続けている数少ない自治体の一つです。全国的な傾向と比較すると人口減少への転換期は幾分遅れて到来するものと思われます。しかし、今後は本市においても急速な高齢化の進行が見込まれるため、継続的に行政改革に取り組みつつ、多様化・複雑化する市政の課題や市民ニーズに的確に対応できるよう行政資源の選択と集中により総合計画後期基本計画の実効性を確保してまいります。

最後に本計画の策定にあたり、アンケート調査を通じて貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆様をはじめ、総合計画審議会委員並びに多くの関係者の皆様に心からお礼を申し上げますとともに、今後とも計画の実現に向けて、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 27 年 3 月